

市町村名		中城村					
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	吉の浦公園等施設機能強化整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア	
担当部課名	生涯学習課	事業実施(予定)年度	平成28年度～令和5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化		
事業内容	地域振興及び観光誘客を図るため、スポーツや文化振興の拠点として吉の浦公園等施設の整備を実施する。						
効果発現年度	■当年度                      ■後年度(令和6年度)						
実施方法	■直接実施    ■委託    □補助    □負担    □その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	175,327	0	44,434	46,398	40,130
		(b)予算現額	149,536	0	36,000	48,188	137,502
		(c)増減額(b-a)	▲25,791	0	▲8,434	1,790	97,372
		(d)繰越額	0	45,001	0	0	0
		A.計(b+d)	1,149,536	45,001	36,000	48,188	137,502
	B.執行済額		104,535	25,729	33,226	47,351	40,254
	うち交付金充当額		83,628	20,583	26,581	37,880	32,203
	次年度繰越額		45,001	0	0	0	94,798
	執行率(%) (B/A)		9.1%	57.2%	92.3%	98.3%	29.3%
予算の状況の説明		当初、芝管理及び東屋の設置工事を予定していたが、遊具設置工事を追加したため予算97,976千円を増額した。遊具設置工事については、デザインの設定や設計業務に不測の日数を要したことから繰越となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	ごさまる陸上競技場芝生の適正管理		目標 ( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	
			実績	実施	実施	実施	
・吉の浦公園東屋設置計画の実施 ・遊具の設置		目標 ( )	( )	( )	( 実施 )		
		実績			実施 ※一部繰越		
達成状況説明		・陸上競技場芝生適正管理業務について、継続した管理を実施しプロサッカーチームがキャンプ地として利用した。 ・東屋を新設し、公園利用者の利便性向上を図った。 ・子供遊具の新設について、設計及び資材価格調査を実施したが、設計等の実施にあたり不測の日数を要したことから工事の着工は令和6年度へ繰越となった。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(6年度)
	プロサッカーチームの宿泊件数		目標 ( 2チーム )	( 2チーム )	( 2チーム )	( 2チーム )	( 3チーム )
			実績	2チーム	1チーム	3チーム	
	東屋整備の完了		目標			( 実施 )	
			実績			実施	
	公園遊具整備の完了		目標			( 実施 )	
		実績			実施 ※一部繰越		

	【参考指標】 R5年間利用者数 6,000名	目標	( )	( )	( )	( 6,000名 )	( )
		実績	/				5,235名
	【参考指標】 放送設備の整備により利用者の利便性が向上したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について施設利用者のアンケートで検証する。	目標	( )	( )	( )	( 80%以上 )	( )
		実績	/				84%
進捗状況説明	<p>・適正な芝管理を継続してきたことでプロサッカーチームのキャンプ受入を実施し観光誘客の促進を図ったが公園利用数は目標値に届かなかった。</p> <p>・東屋はスケジュール通りに完了したが、遊具設置工事については設計等に不測の日数を要したことで次年度繰越となった。</p>						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>(プロサッカーキャンプ受入) 目標であった誘致件数を上回るチーム数を誘致することができたのは、良質な状態の芝を維持しキャンプ地として最適な環境を創出したことが要因と考えられる。</p> <p>(東屋新設工事・遊具施設工事) 遊具設置工事については、デザインの選定や設計に不測の日数を要したことや追加業務等があり年度内に終える事ができなかった。</p> <p>(施設利用数) キャンプ受入れ団体数が多くなったことで、一般利用者が施設を利用できる期間が制限されたことが公園利用者数が減少した要因と考えられる。しかし、キャンプ見学者数は2,219名であり、これを加味すると目標値は達成している。</p> <p>(利用者アンケート) 放送設備の活用により、各種大会時のアナウンスや、公園利用者へ園内放送で閉館の案内や注意喚起など、園内広域への呼びかけを即時に行うことで利便性の向上につながったことが目標値を達成した要因と考えられる。</p>	<p>(プロサッカーキャンプ受入) 良質な芝を維持するには専門的知識及び技術が必要であるため、今後も継続した管理を行う。</p> <p>(東屋新設工事・遊具施設工事) 施設の機能強化及び利便性の向上が図られたことから、利用者拡大に向け、当該施設を活用してPRを行う必要がある。</p> <p>(施設利用者数) 公園内の施設や機能を広く周知し様々なイベントで活用してもらう等、利用者数の増加に繋げる取り組みが必要である。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>(プロサッカーキャンプ受入) 良質な芝の適正管理を継続して実施し、関係機関と連携しながら受入体制の強化に取り組みプロサッカーチームキャンプの定着化を図ることで観光誘客を促進する。</p> <p>(東屋新設工事・遊具施設工事) 施設機能強化による利便性向上について村HPや広報で周知するなど情報発信を強化し、施設利用者の増加に繋げる。</p>		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
40,254	40,254	32,203	8,051	0



資金の用途の流 点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支出先の選定に関して、各工事及び設計委託については、指名競争入札により選定しており、適正な業者選定及び規模である。</li> <li>・入札残による不用額が発生したが、予算規模は適正であったと考える。</li> <li>・費目・用途については、精算時に目的に即しているかを確認し、必要であったと判断した。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	中城村							
<b>令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>								
事業番号・事業名	2-②	プロサッカーキャンプ支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア			
担当部課名	産業振興課	事業実施 (予定)年度	平成25年度～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化			
事業内容	スポーツキャンプを通して、観光地としての魅力を発信し観光誘客を図るため、プロサッカーチームの冬季キャンプ誘致活動並びにキャンプ受入の歓迎イベントの開催、また円滑なキャンプ実施の為に警備を行う。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )							
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	1,710	1,720	2,106	2,169	2,106	
		(b) 予算現額	1,710	1,720	1,903	2,169	2,106	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 203	0	0	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	1,710	1,720	1,903	2,169	2,106	
	B. 執行済額		1,701	770	1,292	520	1,733	
	うち交付金充当額		1,360	600	1,034	415	1,248	
	次年度繰越額		0	0	0		0	
	執行率(%) (B/A)		99.5%	44.8%	67.9%	24.0%	82.3%	
予算の状況の説明		令和5年度は執行率82.3%、不用額373千円であった。不用額は警備委託業務における実績減によるもの。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R5活動目標(指標)		達成状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	プロサッカーチームの誘致活動の実施		目標 ( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )		
			実績	実施	実施	実施		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプ環境を確保するための支援を実施</li> <li>・グッズ販売やトレーニングマッチを開催</li> <li>・スタンプラリーを実施</li> </ul>		目標 ( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )		
		実績	実施	実施	実施			
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本村のサッカーキャンプに関する受入体制の確保およびPRやキャンプ期間中の支援など、プロサッカーチームの誘致活動を実施した。</li> <li>・1～2月のキャンプ期間中3チームの受入を行った。</li> </ul>						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)	
	キャンプ見学者数		目標 ( )	( 8,480人 )	( 8,640人 )	( 8,640人 )	( )	
			実績	/	0人	777人	2,219	/
			目標 ( )	( )	( )	( )	( )	
		実績	/				/	

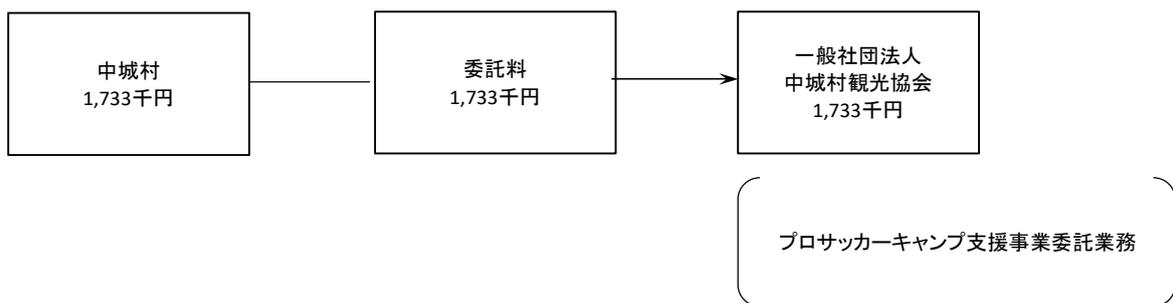
進捗状況説明	・今年度も継続しプロサッカーチームを誘致することができた。新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、コロナ禍前であった時期のキャンプ見学者数を期待していたが目標達成をすることができなかった。
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>今年は沖縄観光客も戻りつつある中で、例年よりも1チーム多い3チームのプロサッカーチームを誘致したが、ファンサービス等を一部実施することができなかったこともありコロナ前水準の目標値であるキャンプ見学者数には至らなかった。</p>	<p>チーム・選手はもちろんのこと、見学者もまた訪れたいと思うような仕掛けが必要。 本村の観光資源等を今まで以上に活用し見学者誘客を図る。</p>

今後の取り組み方針
<p>選手と交流ができるイベントや中城村の飲食店や観光地を訪れた方をキャンプ見学者へ誘導するようなコラボイベント等を企画し、キャンプ見学者数の向上に繋げる。</p>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,733	1,560	1,248	312	173



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の流 れ、費 目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託先は村観光振興に資する団体であることから、妥当であるとする。</li> <li>・当初計画通り実施できなかったが達成状況を鑑みると妥当であるとする。</li> <li>・費用、用途においては、精算時に検査をしていることから必要なものに限定されているとする。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		中城村					
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③		観光地周辺環境美化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア	
	担当部課名	都市建設課	事業実施(予定)年度	平成29年度～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	「新しい生活様式/ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進
事業内容	観光地及び観光地へのアクセス道路の美化清掃を行い、観光客の満足度向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	21,727	21,836	23,192	11,280	17,965
		(b) 予算現額	20,519	20,387	20,036	11,280	17,965
		(c) 増減額 (b-a)	-1,208	-1,449	-3,156	0	0
		(d) 繰越額					
		A. 計 (b+d)	20,519	20,387	20,036	11,280	17,965
	B. 執行済額		20,519	20,387	20,036	11,259	18,478
	うち交付金充当額		1,614	16,309	16,029	9,007	14,782
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	99.8%	102.9%
予算の状況の説明		適切に予算執行し、事業に関しても目的通り執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	環境美化作業員 9名	目標	( 6名 )	( 6名 )	( 6名 )	( 9名 )	
		実績	6名	6名	6名	9名	
	アクセス道路の美化清掃の実施	目標	( )	( )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績			実施	実施	
達成状況説明	スケジュール通りに清掃活動を実施し、一年を通して観光地へのアクセス道路としての機能を維持することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	魅力的な観光地としての景観となっているか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	( )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	( )
		実績		未実施	92%	86%	
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
実績							

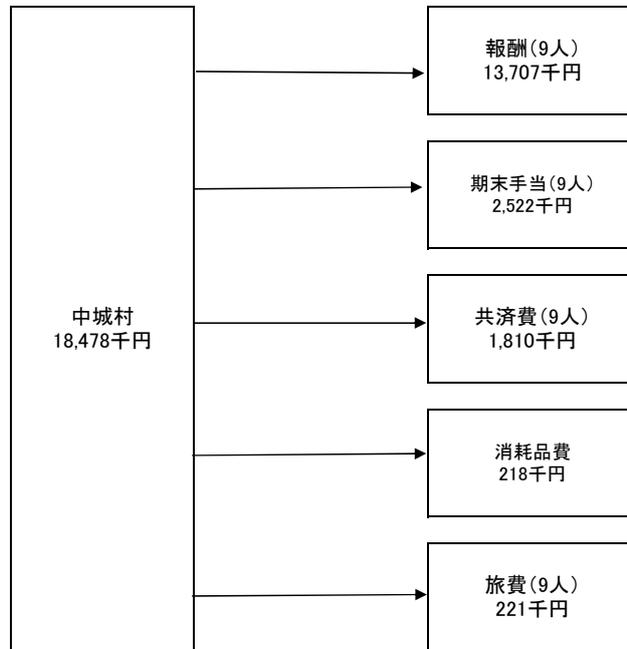
進捗状況説明	作業員と作業工程や歩行者・観光者にとって不快な状況にある箇所を確認しながら作業を実施し、観光地としてふさわしい景観創出を維持できた。 アンケートの結果、満足度向上が確認できた。
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	R5年度より作業箇所の追加し作業員も3名増加し、作業を実施できたことで、悪天候により作業遅れが生じたことがあったものの、概ねスケジュール通りに清掃作業ができた。  作業を実施しているハンタ道は、文化庁から保存と活用を広く国民に顕彰するために選定する「歴史の道百選」にも登録されたことで年々利用者が増加しており、利用者から草刈の要望なども増加していることから、引き続き計画的な作業ができるよう作業工程を見直し、効率よく実施できるよう取り組む。	作業員が9名になり、前年までとは異なり作業能率は上がってきたが、追加した作業箇所の工程などを現場の状況や草の成長の早い時期、台風等の災害後の対応などを作業員とのミーティング時に確認し、効率的に実施できるようにする必要がある。

今後の取り組み方針
観光客が快適に観光地へアクセスできるよう、作業員と定期的な現場確認・状況把握及び共有を図り、悪天候や台風後の現場の状況に応じて作業工程の見直しを行い効率的な作業を継続する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

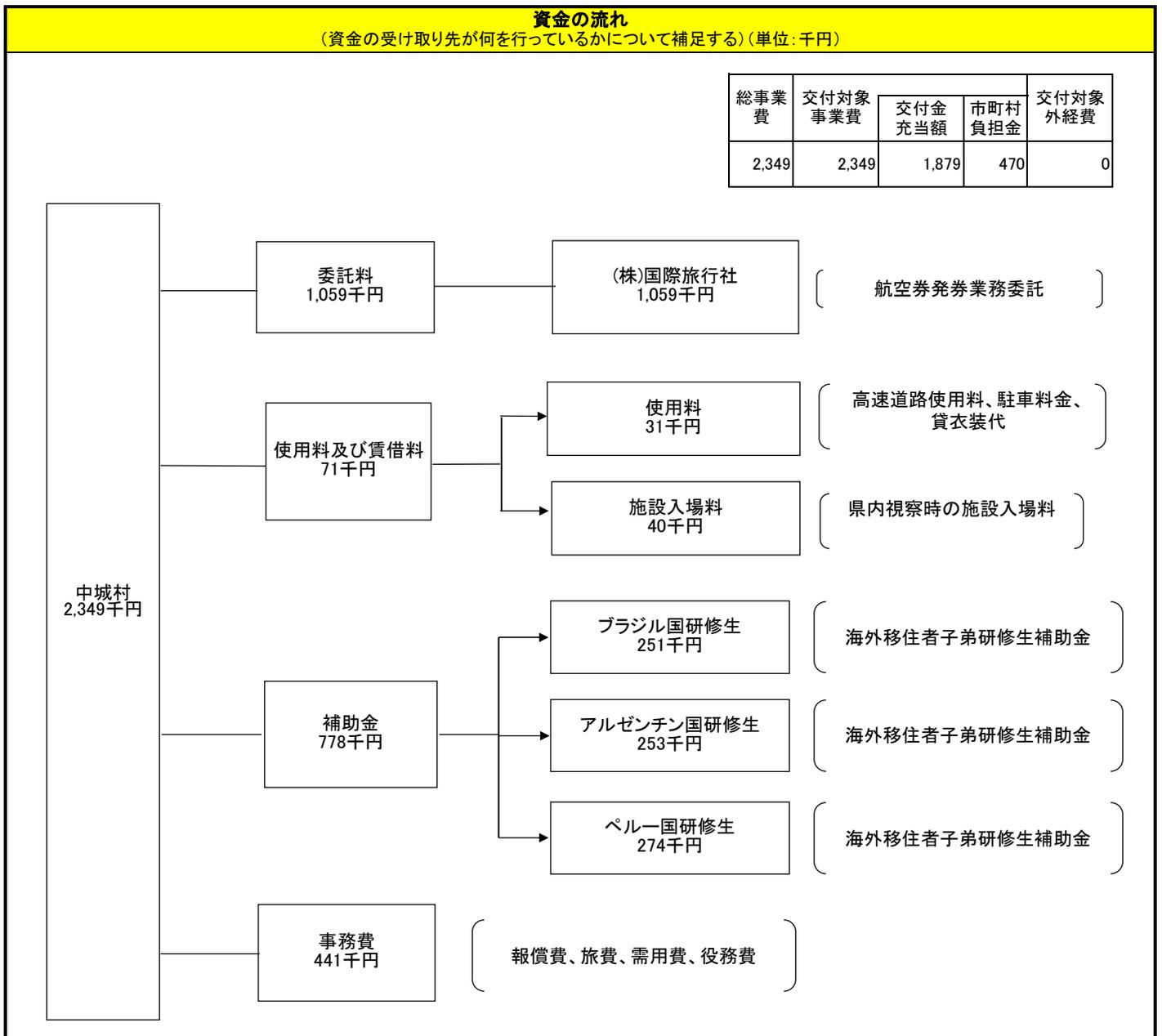
総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
18,478	18,478	14,782	3,696	0



資金の流 れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○作業員の採用については村の条例規則に基づき雇用契約を行っており、妥当であったと考えている。 ○予定していた事業は概ね実施できたことから、予算規模は適正であったと考える。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	中城村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	海外移住者子弟研修生受入事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-4-(2)-(ア)		
担当部課名	企画課	事業実施(予定)年度	平成26年度～令和5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展		
事業内容	海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材の育成を図るため、海外に移住した中城村出身の子弟を研修生として受入、日本語研修、文化研修、地域交流等の交流プログラムを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		～R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	18,377			2,683	3,737
		(b) 予算現額	15,623			2,403	2,332
		(c) 増減額(b-a)	-2,754	0	0	-280	-1,405
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	15,623	0	0	2,403	2,332
	B. 執行済額		13,559	0	0	2,191	2,349
	うち交付金充当額		10,845			1,752	1,879
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		86.8%			91.2%	100.7%
予算の状況の説明		為替レートの影響から海外航空券の価格が抑えるため早期確保に努めた結果、予算の減額が生じた。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	・海外に移住した中城村出身の子弟を研修生として受け入れる。		目標 (受入実施)	(受入実施)	(3人)	(3人)	
			実績	事業中止	事業中止	2人	3人
	・住民への国際交流の機会の提供 ・移住の歴史について住民の興味喚起		目標 (実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	事業中止	事業中止	実施	実施	
達成状況説明		各国村人会よりの推薦を受け、研修生の審査を行い、目標である3名の受入れを実施できた。 村内公共施設やこども園、村内小学校などで住民との国際交流を実施。 小学校では移民の歴史について特別授業を実施し、国際交流と共に、移民の歴史について小学生が学ぶ機会となった。					
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、子弟へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する		目標 ( )	( )	(80%)	(80%)	( )
			実績		100%	100%	
	進捗状況説明		沖縄の文化や歴史はもとより、自身のルーツやウチナーンチュアイデンティティの再認識など、今後の各国村人会と中城村を結ぶ懸け橋となる人材の育成が図れたことにより、目標を上回る結果となった。				

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	研修プログラムにおいて、村内外の視察や文化研修、琉球大学やJICA沖縄における沖縄の文化や歴史に関する講義を受講。 沖縄の文化や歴史はもとより、自身のルーツやウチナーンチュアイデンティティーの再認識など、今後の各国村人会と中城村を結ぶ懸け橋となる人材の育成が図れたことにより、目標を上回る結果となったと考えられる。	研修プログラムのより一層の充実を図ると共に、各国村人会と村民の今後の交流にも繋がっていくような交流プログラムの強化を図り、人材育成につなげていく。
	<b>今後の取り組み方針</b>	
研修終了後に各国村人会や県人会での活動に携わるなど、人材育成は進んでいるため、村民とのさらなる交流機会の確保や事業の広報などを充実させていく。また、村内イベントへの研修生の参加などの機会確保を図っていく。		



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先は地方自治法施行令第167条の2第1項第1号の規定に則り随意契約としており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額はほぼ発生せず、適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○要綱の定めのある事業目的に即した費用を交付しており、要綱外の費用においては受益者負担の観点から、負担関係は妥当であると考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、額の確定時において支出等に関する書類により、確認し、適正であることを確認した。

市町村名		中城村					
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-イ Society5.0に対応する教育の推進		
担当部課名	教育総務課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)	
事業内容	ICTを使用したわかりやすい授業を実施することによる学校教育の質の確保及び教員のICT機器活用の習熟を図るため、授業支援やICT機器活用に向けた環境整備を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	21,520	50,220	41,297	2,861	15,840
		(b) 予算現額	20,429	34,589	58,897	2,922	13,860
		(c) 増減額(b-a)	-1,091	-15,631	17,600	61	-1,980
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	20,429	34,589	58,897	2,922	13,860
	B. 執行済額		20,429	34,589	58,352	2,921	13,860
	うち交付金充当額		16,343	27,671	46,681	2,336	11,088
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	99.1%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		事業計画通り執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	ICT支援員の派遣	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	ICT機器を活用した授業等の実施	目標	(            )	(            )	(            )	( 実施 )	
実績					実施		
達成状況説明	村内全ての学校へICT支援員の巡回訪問を実施し、ICT機器を活用した授業支援等を実施した						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合	目標	(            )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	(            )
		実績	/	95.5%	95.1%	95.6%	/
	教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:80%以上	目標	(            )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	(            )
実績		/	99%	98.8%	99.2%	/	

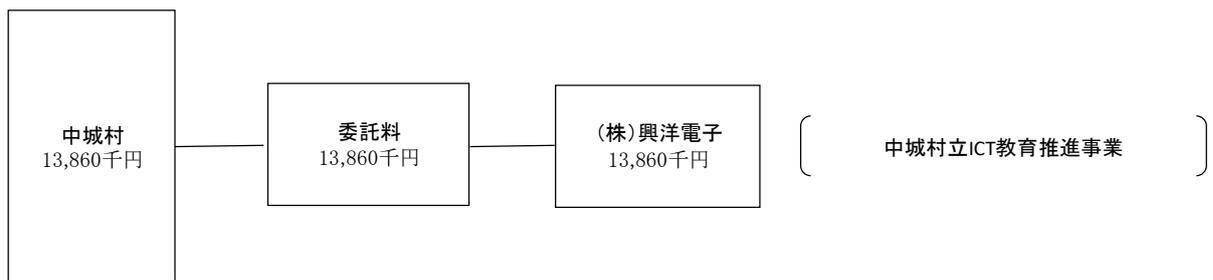
進捗状況説明	目標値80%以上に対して、実績値は95.6%と高い水準にある。 ICT機器を活用した授業を実施するため、研修会や質問等に適宜対応し、授業内容の充実を図った。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	学校間や教員間において、ICT教育の指導力・活用力が異なるため、研修会の充実等によって、効果的に授業を実施できるようにする必要がある。	急速に進むICT教育環境について、様々な事例や支援ソフトを導入し、児童生徒の理解力を高める必要がある。

今後の取り組み方針
整備したICTマニュアルを活用し、各学校において機器を活用した指導力を高め、わかりやすい授業を展開させる。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
13,860	13,860	11,088	2,772	



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模については、適正な規模であったと考えている。 ○事業目的達成の観点から、事業は適切に実施されており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		中城村					
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	きめ細かな児童生徒支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-エ		
担当部課名	教育総務課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代の変化に対応する魅力ある学校づくりの推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、村内幼小中学校に特別支援員を配置し支援を行うとともに、不登校など課題のある児童生徒の改善を図るため、教育相談員と心理相談員を配置し支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	55,676	44,368	39,180	35,492	33,975
		(b) 予算現額	46,221	41,098	29,136	29,919	27,491
		(c) 増減額(b-a)	▲ 9,455	▲ 3,270	▲ 10,044	▲ 5,573	▲ 6,484
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	46,221	41,098	29,136	29,919	27,491
	B. 執行済額		46,221	41,098	29,136	29,919	27,880
	うち交付金充当額		39,976	32,878	23,308	23,935	22,304
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	101.4%
予算の状況の説明		予算は適正に執行された。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	特別支援員配置 8人 小学校 7人 中学校 1人	目標	( 幼稚園4人 小学校9人 中学校2人 )	( 幼稚園2人 小学校6人 中学校1人 )	( 幼稚園2人 小学校7人 中学校1人 )	( 小学校7人 中学校1人 )	
		実績	幼稚園4人 小学校9人 中学校1人	幼稚園2人 小学校6人 中学校1人	幼稚園2人 小学校7人 中学校1人	小学校7人 中学校1人	
	相談員の配置 4人 教育相談員3人 心理相談員1人	目標	( 教育相談員3人 心理相談員1人 )	( 教育相談員3人 心理相談員1人 )	( 教育相談員2人 心理相談員1人 )	( 教育相談員3人 心理相談員1人 )	
実績		教育相談員3人 心理相談員1人	教育相談員3人 心理相談員1人	教育相談員2人 心理相談員1人	教育相談員3人 心理相談員0人		
達成状況説明	該当児童生徒が落ち着いて学校生活を送れるよう、支援員等を配置し個々にあったサポートを実施することができた。心理相談員については雇用が出来なかったが、教育相談員、スクールソーシャルワーカー、村の心理士が連携し対応した。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	特別支援員 保護者アンケート(満足度70%以上)	目標	(      )	( 70% )	( 70% )	( 70% )	(      )
		実績	/	96%	95%	90%	/
	不登校児童生徒復帰率41%以上	目標	(      )	( 46% )	( 42% )	( 41% )	(      )
実績		/	44%	45%	42%	/	

進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケートで目標値を上回る90%の満足度を得られた。</li> <li>・不登校児童生徒復帰率について目標を達成することができた。</li> </ul>
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>(特別支援員アンケート) 目標値を上回る成果が得られたことは、スクールソーシャルワーカーや教育相談担当教諭、担任と連携を図り、さらに関係機関とも連携することで家庭への支援を強化したことが要因と考えられる。 支援員の声かけにより気持ちの切り替えがスムーズとなり学習に取り組めるようになるなどの効果があった。</p> <p>(不登校児童生徒復帰率) 継続して教育相談を実施し学校へ行きやすい環境づくりを行った結果、不登校復帰率について目標を達成することが出来た。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も特別支援員の研修を通して、支援の質を高める取り組みを行う。児童生徒の教育的ニーズを踏まえる支援が複雑化・高度化していることから、専門的な知識を取得し支援を実践していく必要がある。</li> <li>・不登校児童人数は増えている現状があるため教育相談・心理相談を通じて保護者や関係機関と連携を図っていく必要がある。新規不登校児童生徒発生の未然防止、初期対応を充実するために、心理検査のアセスメントの充実や対処方法等の行動連携が図れる体制づくりを行う。</li> </ul>

今後の取り組み方針
<p>今後も、支援が必要な児童生徒が学校教育を適切に享受できるよう、以下の取り組みを行っていく。</p> <p>①支援員が一人一人の個性や教育的ニーズに対応できるよう、高度化・複雑化した支援方法の研修会を実施し、支援の質向上を図る。</p> <p>②担任や管理職と共に、教育相談員も学校組織の一員として不登校対策体制に参画する意識の向上を図り、不登校児童生徒の情報共有し、計画的・継続的な取組を行う。</p>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

	総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
			充当額	市町村負担金	
	28,354	27,880	22,304	5,576	474

中城村 28,354千円	(報酬11人) 20,242千円	特別支援員及び相談員11人 小学校 7人 中学校 1人 教育相談員3人 心理士0人
	(職員手当等11人) 3,750千円	特別支援員及び相談員11人 小学校 7人 中学校 1人 教育相談員3人 心理士0人
	(共済費11人) 4,022千円	特別支援員及び相談員11人 小学校 7人 中学校 1人 教育相談員3人 心理士0人
	(旅費11人) 340千円	特別支援員及び相談員11人 小学校 7人 中学校 1人 教育相談員3人 心理士0人

資金の 用途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	-	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支援員等の採用については、村の条例規則等に基づき雇用契約を行っているため、妥当であったと考えられる。</p> <p>○予定していた事業規模は概ね実施できたので予算規模は適正であったと考えている。</p> <p>○費目・用途については、目的に即し必要な人件費等に充当し限定されている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	中城村
------	-----

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-③	学力向上のための学習支援事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア
担当部課名	教育総務課	事業実施(予定)年度	平成29年度～令和13年度	確かな学力を身につける教育の推進
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容  
村内中学校に学習支援員を配置し、数学を中心とした学習支援を実施することで、学力の向上を図る。

効果発現年度  
 当年度       後年度(      年度)

実施方法  
 直接実施     委託       補助       負担       その他(      )

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	6,297	7,524	4,763	4,894	6,035
	(b) 予算現額	6,292	7,524	4,763	4,894	5,069
	(c) 増減額 (b-a)	▲5	0	0	0	▲966
	(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)	6,292	7,524	4,763	4,894	5,069
	B. 執行済額	6,292	7,524	4,763	4,894	4,205
	うち交付金充当額	5,033	6,019	3,810	3,915	3,364
	次年度繰越額					
	執行率 (%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	83.0%
	予算の状況の説明	支援員2名配置のうち1名が年度途中で退職したことから実績減が生じたが、予算は概ね適正に執行された。				

活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況			
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	学習支援員配置 中学校2人	目標 ( 中学校3名 )	( 中学校2名 )	( 中学校2名 )	( 中学校2名 )
	実績	中学校3名	中学校2名	中学校2名	中学校2名
	目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )
	実績				
達成状況説明	学習に課題を持つ生徒に対して、学習支援員2人を配置することで支援体制を構築した。				

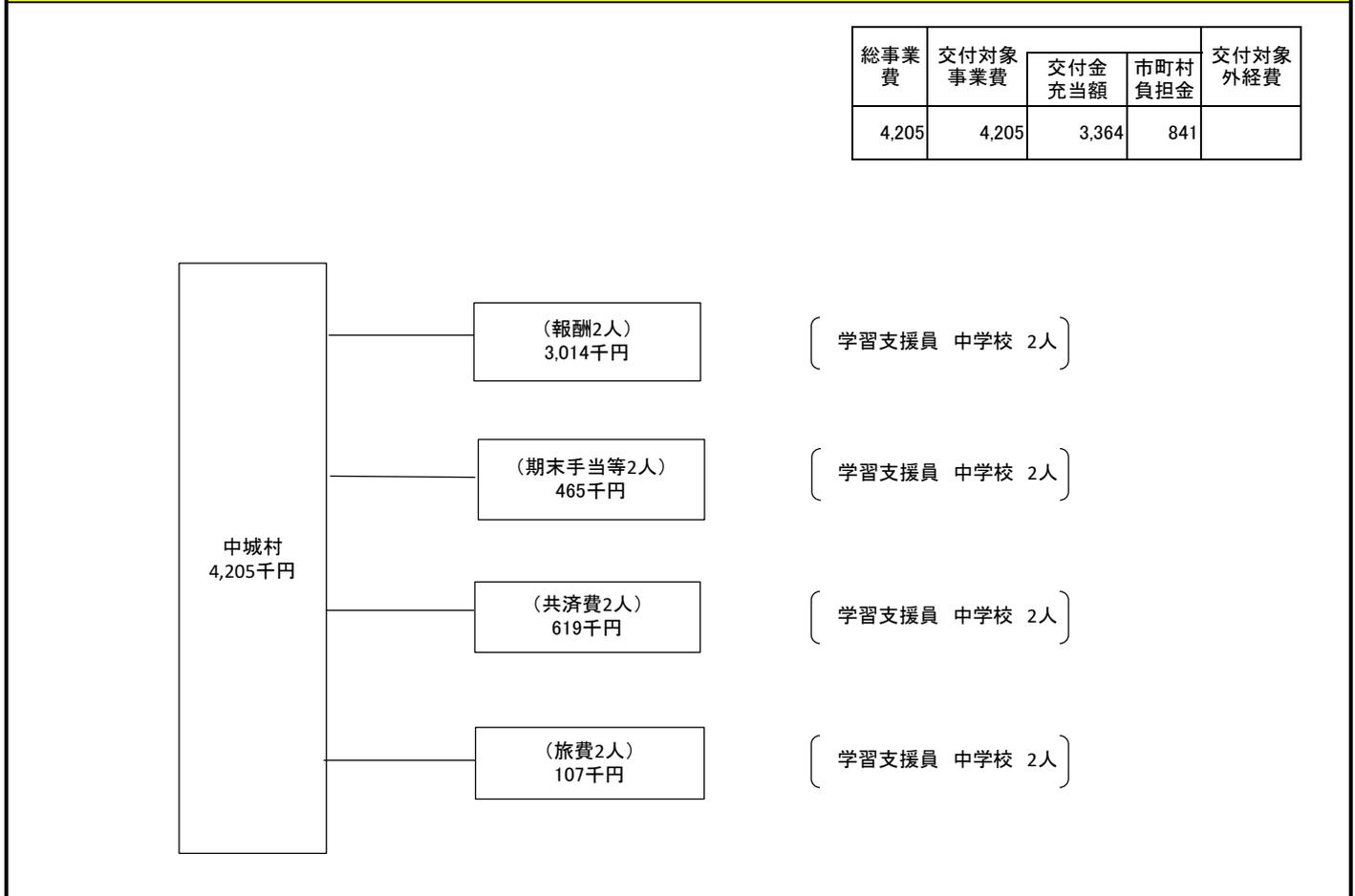
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)	
	沖縄県学力到達度調査(数学)において、県との平均正答率差-5.0ポイント以上	目標	(                    )	( 差-5.8P以上 )	( 差-5.6P以上 )	( 差-5.0P以上 )	(                    )
		実績	/	差-1.7P	差-0.7P	差1.4P	/
		目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	
	実績	/				/	

進捗状況説明	学級・児童生徒の個々の理解度を各種学力調査の結果について分析を行い、教科担任と連携し年間を通した学習支援サイクルと支援体制を構築したことで、平均正答率の差が大幅に縮まり目標を達成することが出来た。
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	職員で各種学習状況調査等の分析を行い、それらの分析結果を基に、組織的に指導・支援を行うことができた。また、外部検定の受検を促し生徒の意欲向上に努めながら学習支援を実施することができた。教科担任と連携し、放課後の補習活動の実施や生徒の学力状況に応じた問題の作成を行った。	県到達度調査において、県平均を大きく超える学年があり、超えていない学年についても県との差がほぼなく、事業実施の効果がでている。個々の学習習熟度に合わせて、課題の改善を図りながら教科担任、学級担任とも連携した組織的な支援体制を継続していく。

今後の取り組み方針
<p>昨年度から支援の継続を図り、以下の事に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年から検定等の受検を促し生徒の学習意欲の向上に取り組む。</li> <li>・関係職員で各学習状況調査の分析を行い、課題については新たな改善策を講じて支援を行う。</li> <li>・評価と指導・支援を繰り返し定着するまで学習支援する。</li> </ul>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流し、点検、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	-	支出先の選定方法は妥当か。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○学習支援員の採用は村の会計年度任用職員の任用、勤務条件に関する条例に基づき雇用契約を行っている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○予定していた事業内容は概ね実施されたことから予算規模は適正であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、事業の目的達成に必要な人件費等に充当し限定されている。

市町村名		中城村					
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-④	子育て保育支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-ア		
担当部課名	こども課	事業実施(予定)年度	平成29年度～ 令和5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	誰もが安心して子育てができる 環境づくり		
事業内容	心身に障がいのある児童や発達に遅れのある児童等、支援が必要な児童を保育所等で受入れるために、加配保育士に対する支援を行い、一般の児童と共に集団保育を行う体制を構築する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の 状況	(a) 当初予算額	36,935	47,061	43,935	52,241	65,411
		(b) 予算現額	34,071	34,801	44,066	51,830	48,085
		(c) 増減額 (b-a)	-2,864	-12,260	131	-411	-17,326
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計 (b+d)		34,071	34,801	44,066	51,830	48,085
	B. 執行済額		34,071	34,801	44,066	51,830	45,596
	うち交付金充当額		27,256	27,841	35,253	41,464	36,477
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	94.8%
予算の状況の説明		当初の目的通り適正に執行できた。不用額は、私立保育施設への補助事業において、補助上限額以下で交付決定された施設があったため。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	加配保育士の配置		目標 (加配職員数22名)	(加配職員数21名)	(加配職員数24名)	(加配職員数27名)	
	実績		加配職員数18名	加配職員数22名	加配職員数26名	加配職員数22名	
		目標 (      )	(      )	(      )	(      )		
		実績					
達成状況説明	加配保育士の確保が出来ず当初の計画通りに配置できなかった施設があったが、事業目的通り支援が必要な児童に対し加配保育士を配置することで一般の児童と共に集団保育を行う体制の構築ができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	保育園での生活の困難が改善されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標 (      )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	(      )
	実績		/	90%	95%	94%	/
	【参考指標】		目標 (      )	(      )	(      )	(      )	(      )
		実績	/				/

進捗状況説明

対象児の保護者アンケートの結果94%が「良かった」と回答しており、加配保育士を配置し、手厚く支援することは効果的であった。また、加配保育士向けに情報交換を兼ねた研修会を実施したほか、心理士の個別訪問により助言・指導を行い加配保育についての理解向上を図った。

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(保護者へのアンケート) ・加配保育について、目標を上回る結果を得ることができた。加配保育士が対象児をサポートすることで、保護者の不安の軽減につながったことが要因であると考えられる。	様々な障害を持つ児童が年々増加していることや、施設によって加配保育の経験がない保育士がいる為、加配保育の内容に差がある。そのため、加配保育士向けの研修の開催や保護者からの意見を共有できるように定期的に情報交換会の実施し、加配保育の質の向上を図っていく必要がある。

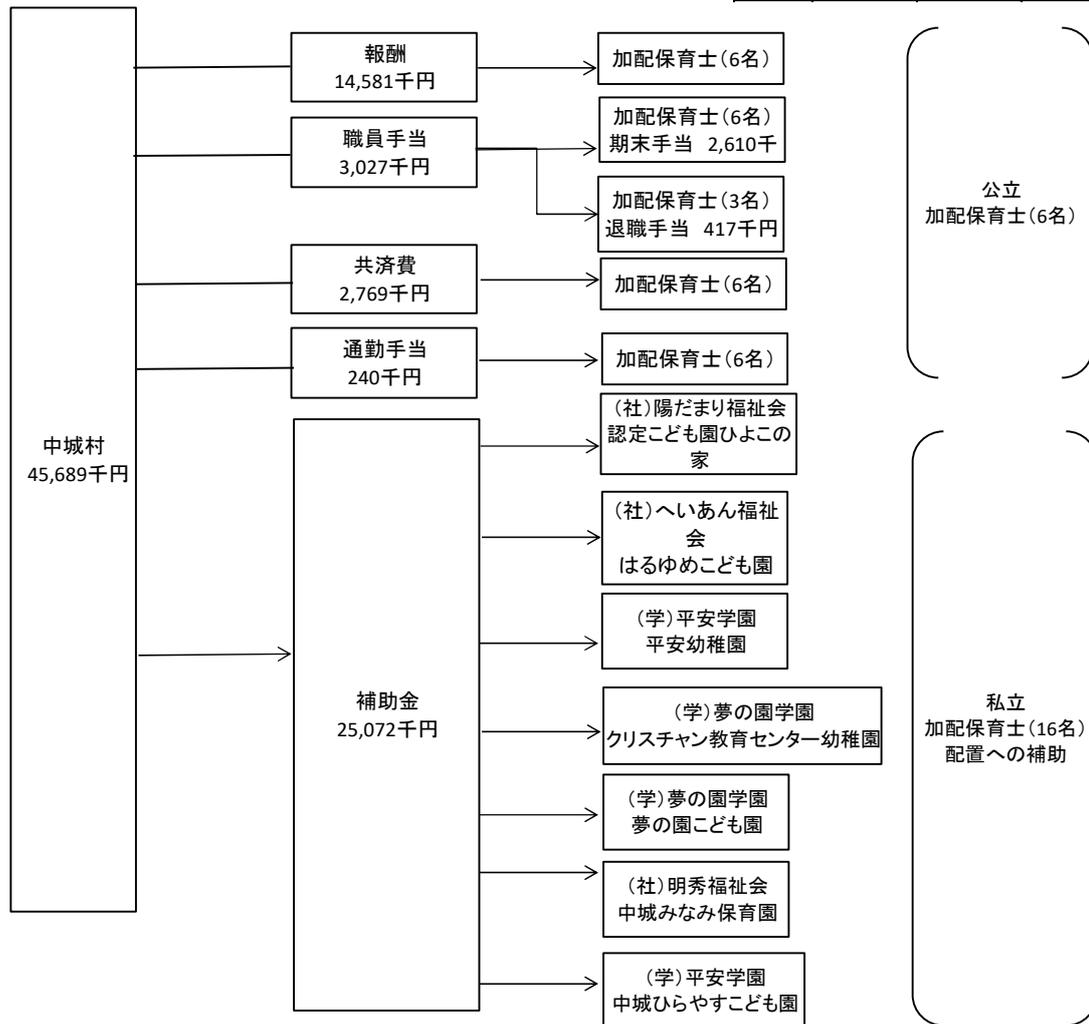
今後の取り組み方針

・引き続き、加配対象児童を受け入れるために、施設への支援を継続して実施し、他の児童と共に集団保育を行っていく。  
また、今後も加配保育士の研修や情報交換会を定期的に行い、保護者や児童への対応などについて指導や助言をし、加配保育への質の向上を図る体制を整備する。  
保育士確保に向け、他の補助事業も活用しながら人材確保に努める。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
45,689	45,596	36,477	9,119	93



資金の 用途の流れ、 費目・ 点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・補助事業者は支援が必要な子の受け入れが可能な施設であるため、妥当であると考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・事業者負担もあり、事業内容から鑑みて妥当であったと考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	中城村
------	-----

**令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	4-⑥	オンライン英会話学習支援事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア
担当部課名	教育委員会 生涯学習課	事業実施(予定)年度	令和5年度～令和13年度	国際感覚を身に付ける教育の推進
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

**事業内容**  
 村内の小学生(5・6年生)及び中学生を対象としてアメリカ州立大学の英語講師とオンラインによる実用的な英会話学習を実施する。

**効果発現年度**  
 当年度       後年度( 年度)

**実施方法**  
 直接実施     委託     補助     負担     その他( )

		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	7,027			
		(b) 予算現額	7,027			
		(c) 増減額 (b-a)	0			
		(d) 繰越額				
		A. 計 (b+d)	7,027			
		B. 執行済額	4,736			
		うち交付金充当額	3,616			
		次年度繰越額				
		執行率 (%) (B/A)	67.4%			
		予算の状況の説明	当初、英会話教室の実施予定回数に基づいた予算額を措置したが、実施回数の減により3,059千円の不用額が生じた。			

活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況				
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		小学生・中学生それぞれ年間64回のオンラインによる英会話学習授業を実施する。	目標	64回		
		実績	40回			
	目標					
	実績					
達成状況説明	当初年間小学生・中学生それぞれ64回の英会話教室の実施を予定していたが、契約の遅れや米国教育機関との調整により各40回の実施となった。					

成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(年度)	
			目標		100.00%			100.00%
			実績	/	82.35%			/
			目標					
	【参考指標】	実績	/				/	

進捗状況説明	39回目の英会話授業において期末テストを実施し、受験者17名のうち14名が目標の80/100点を達成した。受験者の平均点は85点であった。(85%)
--------	----------------------------------------------------------------------------

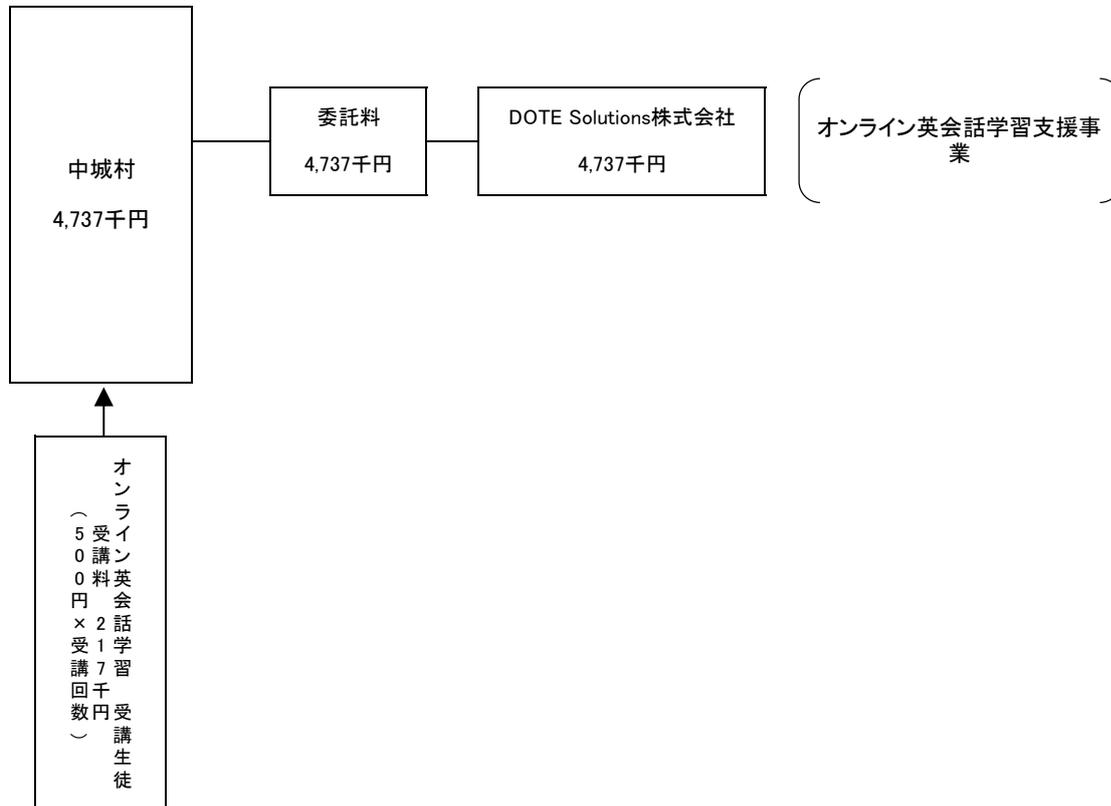
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>(実施回数) 事業を実施可能な事業者の調査、内容の検討及び米国教育機関との調整において時間を要してしまい、当初の実施目標を達成することができなかった。</p> <p>(期末テスト得点達成) 受験者17名のうち14名が目標を達成しており、概ね良好な結果となった一方で、部活動などで出席の継続が困難となるケースがあり、授業の出席率が低い生徒や期末テストを受けていない生徒が生じた。</p>	<p>(実施回数) 予定実施回数を達成できるよう余裕を持ったスケジュールとするため、プロポーザルを早期に実施する。単年度毎に教育内容に差異が生じないよう継続性を考慮し、随意契約による契約方法も検討する。</p> <p>(期末テスト得点達成率) 授業毎にフォローアップを実施し、得点率の向上を図る。継続困難な生徒など欠員が生じた場合への対応として、学校の保護者への連絡ツールなどを活用して定期的に募集を行い補填を行う。</p>

**今後の取り組み方針**

実施可能な事業者の調査や米国教育機関との調整を随時行い、事業を計画通りに進める。  
参加生徒の継続的な出席が課題となっており、欠席が続く生徒の学習意欲の確認を重視しながらも、退出となった場合への対応として村ホームページや学校の連絡ツールを活用して恒常的な参加生徒の募集・受付を行っていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
4,737	4,520	3,616	904	217



資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者はプロポーザルによる選定を行っており妥当であると考え。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	当初予定していた授業回数が達成できず不用額を生じたが、実績での案分により清算している。全体的な予算としては妥当な予算額である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	受講回数に応じた受講料を徴収しており、受益者負担の原則に沿ったものである。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	中城村
------	-----

**令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	5-①	歴史的資料整理公開活用事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア
担当部署名	まちづくり推進課	事業実施 (予定)年度	令和4年度～ 令和9年度	沖縄の文化の源流を 確認できる環境づくり
			沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(3)

**事業内容**  
米軍関係者が撮影した1万5千点近くに及ぶ沖縄の写真・映像等資料の整理を行う。  
中城村や沖縄の貴重な歴史を広く発信するため、これら資料を活用した展示会を開催し平和教育の促進を図る。

**効果発現年度**  
 当年度       後年度(令和9年度)

**実施方法**  
 直接実施     委託     補助     負担     その他 ( )

		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	12,545	30,149			
	(b) 予算現額	12,663	27,943			
	(c) 増減額 (b-a)	118	-2,206			
	(d) 繰越額	0	0			
	A. 計 (b+d)	12,663	27,943			
	B. 執行済額	11,679	28,425			
	うち交付金充当額	9,343	22,740			
次年度繰越額	0	0	0	0	0	
執行率 (%) (B/A)	92.2%	101.7%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	予算は適正規模で執行された。					

活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況			
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
資料リストの作成	目標	( 実施 )	( )	( )	( )
	実績	実施			
展示会の開催	目標	( 実施 )	( )	( )	( )
	実績	実施			
寄贈資料の分類・整理	目標	( )	( 実施 )	( )	( )
	実績		実施		
達成状況説明	米軍関係者が撮影した1万5千点近くに及ぶ沖縄の写真・映像等の歴史的資料の分類・整理を実施した。				



資金の 用途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当と考えている。</p> <p>○予算は適正な規模であった。</p> <p>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	中城村						
<b>令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	5-②	文化財整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会 生涯学習課	事業実施 (予定)年度	令和4年度～ 令和5年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及  Ⅲ-3-(2)	
事業内容	村内の文化財を広く活用し村の歴史・文化の継承を図ることを目的に、重要な文化財を適切に保護するため、令和4年度に調査設計と測量を行った村指定文化財「伊舎堂のマーチュウグワー」の保存工事を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R6年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R58年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	8,802	6,725			
		(b) 予算現額	6,050	6,725			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 2,752	0	0	0	0
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計 (b+d)	6,050	6,725	0	0	0
	B. 執行済額		6,050	4,263			
	うち交付金充当額		4,840	3,410			
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	63.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		不用額については委託や工事の入札残によるものである。					
<b>活動目標 (指標) 及び達成状況</b>	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	「伊舎堂のマーチュウグワー」の保存工事に向けた調査設計と測量の実施	目標	( 実施 )	( )	( )	( )	
		実績	実施				
	文化財整備工事の実施	目標	( 実施 )	( )	( )	( )	
		実績	実施				
	「伊舎堂のマーチュウグワー」の保存工事の実施	目標	( )	( 工事の完了 )	( )	( )	
実績			工事の完了				
達成状況説明	伊舎堂のマーチュウグワーの保存工事を計画どおり実施することができた。						

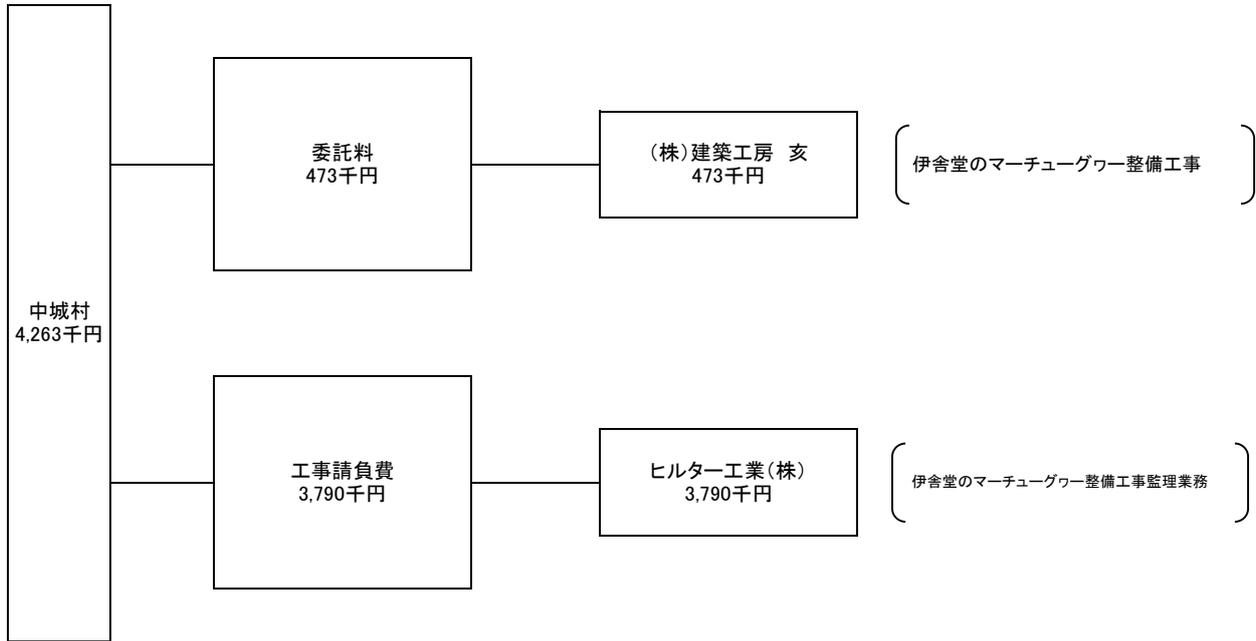
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値 (年度)	R4年度	R5年度	目標値(6年度)	
	「伊舎堂のマーチューグラー」の保存工事に 向けた調査設計と測量の完了	目標	( ) ( )	( 調査設計と 測量の完了 )	( ) ( )	( ) ( )
実績			調査設計と 測量の完了			
文化財整備工事の完了	目標	( ) ( )	( 文化財整備 工事の完了 )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )
	実績		文化財整備 工事の完了			
「県道開削記念碑」「安里のムラガー」の見学 者	目標	( ) ( )	( ) ( )	( 各100人 )	( ) ( )	( ) ( )
	実績			県道開削記念碑 150人		
「伊舎堂のマーチューグラー」の保存工事の実 施	目標	( ) ( )	( ) ( )	( 工事の完了 )	( ) ( )	( ) ( )
	実績			工事の完了		
文化財の情報発信及び活用	目標	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )
	実績					
進 捗 状 況 説 明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「伊舎堂のマーチューグラー」の保存工事を計画どおり実施した。</li> <li>・「県道開削記念碑」は、本村総合スポーツクラブが開催した「護佐丸ウォーキング」で150人が視察に訪れた。</li> <li>・「安里のムラガー」については、イベント等で活用できなかったことから、見学者の正確な人数を把握することができなかった。</li> </ul>					

取組の 検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>(「伊舎堂のマーチューグラー」の保存工事の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度に実施した「伊舎堂のマーチューグラー」の調査設計と測量によって、詳細な工法や工事箇所が把握されたため、適切な保存工事を実施することができた。</li> </ul> <p>(「県道開削記念碑」、「安里のムラガー」の見学者 各100人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県道開削記念碑は、本村総合スポーツクラブの「護佐丸ウォーキング」のコースに組み込み募集人数の150人が見学したことが目標達成の要因と考えられる。</li> <li>・安里のムラガーは、信仰の場であるため地域の人や文化財に関心がある人が訪れているが、人数のカウントを常時行っていないため正確な数字を把握することができなかった。</li> </ul>	<p>(「伊舎堂のマーチューグラー」の保存工事の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の協力も得ながら、定期的な清掃や安全確認のため巡回を実施していく。</li> </ul> <p>(「県道開削記念碑」、「安里のムラガー」の見学者 各100人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県道開削記念碑は、引き続き村内にある各種団体と連携し文化財巡り等に積極的組み込んでさらなる活用の促進を図る。</li> <li>・安里のムラガーは、人数把握のための情報収集や文化財巡りや地域散策等で積極的な活用を行う。</li> </ul>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>(「伊舎堂のマーチューグラー」の保存工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に草刈り等の清掃や安全確認のための巡回を行う。</li> </ul> <p>(「県道開削記念碑」、「安里のムラガー」の見学者 各100人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学習や文化財巡り等のコースとして設定したり、中城村のホームページやブログ等で情報発信、認知度向上を図り、多くの人に観覧してもらうことで地域の文化・歴史を伝えていく。</li> </ul>		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,263	4,263	3,410	853	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○監理業者は3者から見積を徴した結果、最低価格を提示した者を選定しており妥当と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○工事事業者は指名競争入力で選定しており、妥当と考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○入札残による不用額が発生したが、予定していた事業内容はすべて実施されたため、予算規模は適正であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと考える。

市町村名		中城村					
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-③	中城村文化まつり事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-I		
担当部課名	教育委員会 生涯学習課	事業実施 (予定)年度	平成26年度～ 令和11年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	伝統工芸の振興		
事業内容	郷土文化を広く村内外へ公開し、舞台や展示等の発表を通して村民及び県民への文化継承並びに創造発展に寄与することを目的に中城文化まつりを開催する。 また、県内外で本村に伝わる伝統芸能の上演を実施し、文化の発信を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d) B. 執行済額		0	0	0	0	3,000
			0	0	0	0	3,761
			0	0	0	0	2,160
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	3,761
		0	0	0	0	3,763	
		うち交付金充当額	0	0	0	0	3,010
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率 (%) (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.1%
	予算の状況の説明	不用額は実績減によるものである。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	吉の浦会館での舞台部門の上演	目標				実施	
		実績				実施	
	護佐丸歴史資料図書館企画展示室での展示部門の展示	目標				実施	
		実績				実施	
	福智町文化祭での上演	目標				実施	
		実績				実施	
	達成状況説明	郷土文化の発信、村民県民への文化継承並びに創造発展に寄与することを目的に令和5年11月11日(土)、令和5年11月12日(日)の両日「中城文化まつり」を開催した。 実行委員会を県外派遣し、福智町文化祭において「津覇の獅子舞」「伊集の打花鼓」を上演した。					

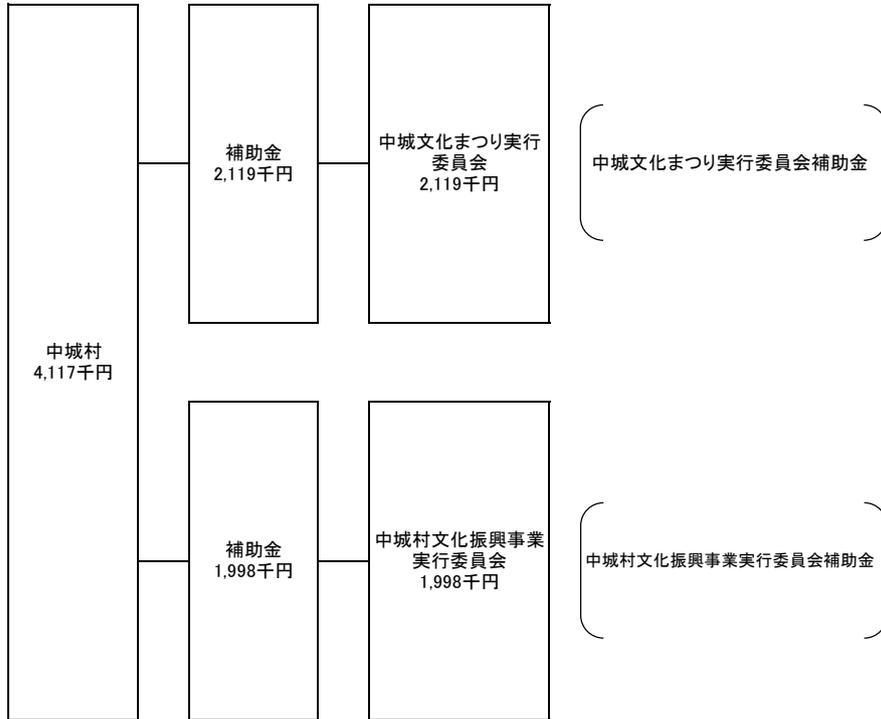
R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
舞台部門来場者数(出演者も含む)1,500人	目標	( )			( 1,500人 )	( )
	実績				1,809人	
展示部門来場者数(出品者も含む)500人	目標	( )			( 500人 )	( )
	実績				503人	
文化祭来場者数 300人	目標	( )			( 300人 )	( )
	実績				350人	
【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
	実績					
進捗状況説明	<p>本村における「中城文化まつり」の実施並びに福智町文化祭(福岡県)への実行委員会派遣・舞台上演(津覇の獅子舞、伊集の打花鼓)を行った。 来場者数は目標値を上回り県内外多くの方々へ郷土文化を発信することができた。</p>					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>【中城文化まつり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動(HPや広報誌等)を適宜行い、成果目標である来場者数を達成することができた。</li> <li>・成果目標の来場者数は達成できているが、出演者数や出展者数は前回開催に比べ減少しており、今後この課題を解決することで更なる来場者数の増加を見込めるのではないかと考えられる。</li> </ul> <p>【中城村文化振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福智町と協力し、HP・広報誌やチラシ配布等幅広くPRしたことで、成果目標値以上の来場者数となり、より多くの方々へ郷土文化を発信することができたと考える。</li> </ul>	<p>【中城文化まつり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる来場者数増加に向け、引き続き村内広報活動を進めるとともに、村外の方々へより広く周知するための広報活動強化を図る。</li> <li>そのためにも、より早い段階での出演者・出展者の募集を行う。</li> </ul> <p>【中城村文化振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公演募集や公演依頼情報等を村内伝統芸能団体へより多く共有し、各種団体の出演機会が増えるよう積極的な情報共有を図る。</li> </ul>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>【中城文化まつり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動については、村外の方々へも周知できるような方法(新聞広告等)を検討しながら村内外多くの人に来場いただけるよう取り組む。</li> <li>・出演者・出展者の確保については、早い段階で住民への「文化まつりの開催」、「今後出演団体・出展者の募集がある」ことの周知を行い、各種関係団体への周知並びに連携強化を図る。</li> </ul> <p>【中城村文化振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公演募集や公演依頼情報等を村内芸能団体へより多く共有し、各種団体の出演機会が増えるよう積極的な情報共有を図る。</li> </ul>		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,117	3,763	3,010	753	354



資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	-	支出先の選定方法は妥当か。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模について、不用額は発生したものの活動目標・成果目標ともに達成できていることから適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途については、精算段階で監査を実施しており、目的に即し、適正に実行することができた。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	中城村					
<b>令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>						
事業番号・事業名	5-④	地域多世代交流活性化事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-7	
担当部課名	教育委員会 生涯学習課	事業実施 (予定)年度	令和3年度～令和5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及	
事業内容	伝統文化の振興及び継承の促進を計るため、沖縄独自の芸能文化である「組踊」の演武及び継承等を行っている村内団体の活動支援(新規台本・道具・衣裳の製作、公演会の開催)を行い、沖縄の魅力の一つである芸能文化をより強化し継承していく。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )					
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R3年度	R4年度	R5年度		
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	3,619		3,500	
		(b) 予算現額	3,619		3,500	
		(c) 増減額 (b-a)	0		0	0
		(d) 繰越額	0		0	0
		A. 計 (b+d)	3,619	0	3,500	0
	B. 執行済額		3,619		3,097	
	うち交付金充当額		2,894		2,478	
	次年度繰越額		0	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	88.5%	#DIV/0!
予算の状況の説明		当初の計画通り事業を実施した。不用額は実績減によるものである。				
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R5活動目標(指標)		達成状況			
			R3年度	R4年度	R5年度	
	村内組踊団体への補助の実施	目標	( 実施 )			
		実績	実施			
	村内組踊団体への補助の実施	目標	( 実施 )			
		実績	実施			
		目標				
実績						
達成状況説明	伝統文化の振興及び継承を図ることを目的に、補助対象団体からの交付申請に基づき適正に補助金交付処理を行った。					

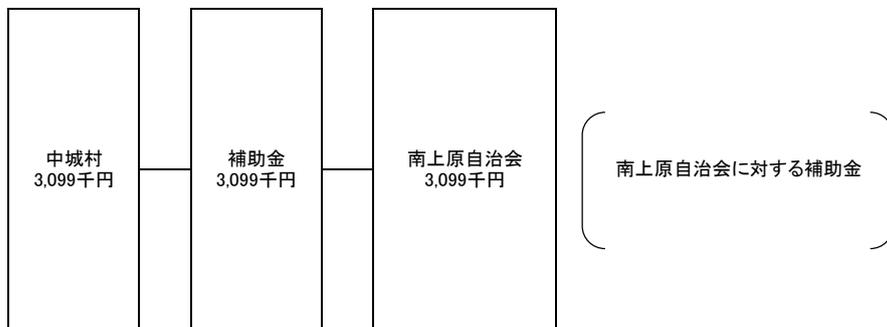
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)	
	来場者の沖縄伝統文化に対する理解度の向上 (伝統文化の振興)	目標	( )	( 80% )				( )
		実績		87%				
	新規台本・道具・衣裳の製作	目標	( )	( )		( 実施 )	( )	
		実績				実施		
	公演会の開催 見学者数: 250人	目標	( )	( )		( 250人 )	( )	
		実績				約450人		
		目標	( )	( )	( )	( )	( )	
実績								
進捗 状況 説明	新作の創作組踊を制作し、道具・衣裳の製作を実施し、「第11回中城文化まつり」で新作の創作組踊を公演した。見学者数は目標値を上回り、多くの方々が新作の創作組踊を観覧することができた。							

取組の 検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標である見学者数を達成することができた要因は、公演会の開催についてチラシ・ポスター作成等を用いて広報活動を行ったことが挙げられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統文化の振興及び継承の促進を図るため、引き続き関係団体への補助等を実施し、芸能文化の強化・継承するための活動促進を図る。</li> </ul>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係団体の活動状況等について、現状や課題点等情報交換を行い、適切な支援を行う。</li> </ul>		

### 資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,099	3,099	2,479	620	0



	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の流れ、費目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先には伝統芸能継承活動を行う団体を選定しており、妥当であると考え。 ○活動目標、成果目標も達成しており、予算規模は適正であったと考え。 ○費目・使途は、精算段階で検査を実施しており、事業目的に即し必要なものに限定されていると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	中城村
------	-----

**令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	6-①	中城村農業振興推進事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-オ
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成30年度～令和8年度	農林水産業のイノベーション創出及び技術開発の推進
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(4)

**事業内容**  
 本村の主要品目の生産振興及び新たな推奨品目の検討にむけ栽培試験を行う。また、営農指導員による営農指導により生産技術の普及を図る。

**効果発現年度**  
 当年度       後年度( R8 年度)

**実施方法**  
 直接実施     委託     補助     負担     その他 ( )

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	8,252	5,808	5,895	6,252	6,382
		(b) 予算現額	6,575	5,400	5,945	6,252	6,382
		(c) 増減額 (b-a)	-1,677	-408	50	0	0
		(d) 繰越額					
		A. 計 (b+d)	6,575	5,400	5,945	6,252	6,382
	B. 執行済額		6,575	5,400	5,945	6,275	6,787
	うち交付金充当額		5,260	4,320	4,756	5,020	5,429
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.4%	106.3%
	予算の状況の説明		報酬費に増額があったが、概ね計画通り適切に事業を執行することができた。				

活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況			
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
重点品目の試験栽培の実施	目標	( )	( )	( 試験栽培実施 )	( 試験栽培実施 )
	実績			試験栽培実施	試験栽培実施
新たな推奨品目の検討にむけた栽培試験を実施	目標	( )	( )	( 試験栽培実施 )	( 試験栽培実施 )
	実績			試験栽培実施	試験栽培実施
営農指導員の採用	目標	( 1人 )	( 1人 )	( 1人 )	( 1人 )
	実績	1人採用	1人採用	1人採用	1人採用
営農指導員補助員の採用	目標	( 1人 )	( 1人 )	( 1人 )	( 1人 )
	実績	1人採用	1人採用	1人採用	1人採用
栽培作業軽減化と品質向上を目指す試験栽培の実施	目標	( 実施 )	( 反復試験実施 )	( )	
	実績	3品目試験実施	反復試験実施		
前年度試験栽培した栽培方法を農家で実証試験を実施	目標	( 実施 )	( 反復実証試験実施 )	( )	
	実績	生産農家での実証試験実施	反復実証試験実施		

	達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営農指導員1名及び営農指導員補助員1名を採用し、重点品目の試験栽培及び営農指導を実施した。</li> <li>・新たな推奨品目の検討に向けた栽培試験を実施した。</li> </ul>					
成果目標（指標）及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（8年度）
	農業指導員及び補助員の配置	目標	( )	( )		( 配置 )	( )
		実績	/				配置
	主要品目の栽培試験の実施	目標	( )	( )	( 試験栽培実施 )	( 試験栽培実施 )	( )
		実績	/			試験栽培実施	試験栽培実施
	新たな推奨品目の栽培試験の実施	目標	( )	( )	( 試験栽培実施 )	( 試験栽培実施 )	( )
		実績	/			試験栽培実施	試験栽培実施
	島にんじん間引き作業軽減に向けた播種方法及び品質向上に向けた栽培試験の実施	目標	( )	( 栽培試験実施 )	( )	( )	( )
		実績	/			栽培試験実施	
	島だいこん栽培方法の違いによる発病の状況調査試験を実施する。	目標	( )	( 試験実施 )	( )	( )	( )
		実績	/			試験実施	
	試験栽培の結果を基に、栽培指針の作成	目標	( )	( 栽培指針作成 )	( )	( )	( )
		実績	/			栽培指針作成	
	【参考指標】 試験栽培により得られた成果を活用し農業指導を行った農家の割合	目標	( )	( )	( )	( )	( 80% )
		実績	/				
	【参考指標】 試験栽培により確立された栽培技術について、営農指導を受けた村内の農家の割合80%以上	目標	( )	( )	( 80% )	( )	( )
		実績	/			85%	
	【参考指標】 本事業の在り方についてアンケートにより検証適切な指導であったとの回答:80%以上	目標	( )	( )	( 80% )	( )	( )
実績		/			90%		/
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業指導員及び補助員を配置し、主要品目である島ニンジンとバナナ及び特産品である島大根の試験栽培を実施した。</li> <li>・新たな推奨品目の検討にむけ島唐辛子の試験栽培を実施した。</li> </ul> <p>【参考指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産農家に対しアンケートを実施</li> <li>試験栽培により得られた成果を活用し農業指導を行った農家の割合</li> </ul>						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(栽培試験) ・島ニンジンの栽培試験において、間引き作業の軽減にむけ加工種子を使用し播種時期の違いによる調査を行った結果、遅植えにおいて間引き作業の軽減効果が確認された。しかし、種子の充実度の違いにより発芽率に大きく影響することが考えられる。また、島ダイコンの試験では、ホソ素処理による黒斑病対策は有効である結果となったが、根の割れが多くあり品質が低下した。影響としては、気候による高温障害が考えられる。	(栽培試験) ・島ニンジンの種子の発芽率を向上させ、加工種子をより効果的に活用するため、種子の栽培方法について検討する必要がある。また、島ダイコンにおいては、高温障害がもたらす品質への影響について調査が必要である。

今後の取り組み方針
・島ニンジンの栽培試験においては、発芽率向上に向けた種子の栽培方法について調査を行う。また、島ダイコンの栽培試験では、高温障害がもたらす品質への影響について調査その対策について検討する。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,787</td> <td>6,787</td> <td>5,429</td> <td>1,358</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,787	6,787	5,429	1,358	0									
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費																
6,787	6,787	5,429	1,358	0																
<table border="1"> <tr> <td rowspan="6">中城村 6,787千円</td> <td>報酬</td> <td>4,498千円</td> <td>( 農業指導員 1名 農業指導補助員 1名 )</td> </tr> <tr> <td>期末手当</td> <td>918千円</td> <td>( 農業指導員 1名 農業指導補助員 1名 )</td> </tr> <tr> <td>共済費</td> <td>837千円</td> <td>( 農業指導員 1名 農業指導補助員 1名 )</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>205千円</td> <td>( 農業指導員 1名 農業指導補助員 1名 )</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>298千円</td> <td>( 需用費 )</td> </tr> <tr> <td>土地賃借料</td> <td>31千円</td> <td>( 土地賃借料 )</td> </tr> </table>	中城村 6,787千円	報酬	4,498千円	( 農業指導員 1名 農業指導補助員 1名 )	期末手当	918千円	( 農業指導員 1名 農業指導補助員 1名 )	共済費	837千円	( 農業指導員 1名 農業指導補助員 1名 )	旅費	205千円	( 農業指導員 1名 農業指導補助員 1名 )	需用費	298千円	( 需用費 )	土地賃借料	31千円	( 土地賃借料 )	
中城村 6,787千円		報酬	4,498千円	( 農業指導員 1名 農業指導補助員 1名 )																
		期末手当	918千円	( 農業指導員 1名 農業指導補助員 1名 )																
		共済費	837千円	( 農業指導員 1名 農業指導補助員 1名 )																
		旅費	205千円	( 農業指導員 1名 農業指導補助員 1名 )																
		需用費	298千円	( 需用費 )																
	土地賃借料	31千円	( 土地賃借料 )																	

資金の流れ、点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○予定していた事業内容はすべて実施され、活動目標・成果目標の達成状況を鑑みて予算額の規模は適切であった。 ○報酬費に増額はあったものの不用額は無く適正な規模であった。 ○費用・使途は、事業完了時の検査において精査しており妥当であったと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		中城村					
<b>令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	7-①	PFI導入による地元小規模事業者等経営安定化事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(8)-ウ		
担当部署名	教育総務課	事業実施 (予定)年度	令和2年度～ 令和8年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	建設産業の持続可能な発展		
事業内容	教育施設の再整備及び維持管理にPFIを導入し、地元小規模事業者等の長期にわたる安定的な資金の確保を支援する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(8年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R2年度	R3年度	R3年度(繰越)	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	35,000	45,000		14,400	
		(b)予算現額	21,439	43,417		12,122	
		(c)増減額(b-a)	-13,561	-1,583	0	-2,278	0
		(d)繰越額			43,417		
	A. 計(b+d)		21,439	43,417	43,417	12,122	0
	B. 執行済額		21,439	0	43,417	12,122	0
	うち交付金充当額		15,162	0	34,733	9,697	0
	次年度繰越額			43,417			
	執行率(%) (B/A)		100%	0%	100%	100%	#DIV/0!
予算の状況の説明		事業計画通り執行することができた					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R5年度	R6年度	
	実施事業者との契約	目標	民間活力導入調査実施	契約	( )	( )	
		実績	民間活力導入調査実施	契約			
	モニタリングの実施	目標	( )	( )	( 実施 )	( )	
		実績			実施		
達成状況説明	SPCとの調整を毎月定例にて実施しており、要求水準書との整合性の確認や、提案書からの変更、工程の進捗等の確認を実施した。						

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	実施事業者との契約	目標	( )	( 調査の完了 )	( 契約 )	( )	( )
		実績		調査の完了	契約		
	教育施設整備に向けた基本設計の完了	目標	( )	( )	( )	( 完了 )	( )
実績					完了		
進捗状況説明	基本設計の完了に向けて、計画的に設計・施工を進めるため細かな調整や、要求水準に適合した施設整備となっているかチェックを実施した。 実施設計の調整を進め、早急に工事着手を行う。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SPC内における地元企業及び協力企業は、PFI事業における施設整備の実績が無く、計画どおり実施していくためには、モニタリングを実施する必要があるほか、建設工事に着手するため、より細かな調整が求められる。</li> <li>・資金調達等、SPCの決算報告等を確認する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングを実施するほか、SPC内においてもセルフモニタリングを実施させ、共通認識をもってPFI事業を実施させる。また、安全面に配慮する必要があることから、監理計画の確認等も実施する。</li> <li>・計画通り事業が進んでいるか、財務状況においてもモニタリングを行う。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

PFI事業における教育施設の整備は県内に実績が無く、地元企業と協力によってノウハウを構築しているところではあるが、安定的・計画的に事業を進めていくためにも、様々な調整や確認を行うため、引き続きモニタリングを実施する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
12,122	12,122	9,697	2,425	

```

graph LR
    A[中城村  
12,122千円] --> B[委託料  
12,122千円]
    B --> C["(株)建設技術研究所  
12,122千円"]
    
```

〔中城村立小学校整備事業設計・建設モニタリング支援業〕

資金の 用途の 流れ 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザルにより選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模については、適正な規模であったと考えている。 ○事業目的達成の観点から、事業は適切に実施されており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	中城村						
<b>令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	7-②	中城村中学生平和体験学習事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-4-(1)-(イ) 沖縄戦の実相・教訓の次世代 継承		
担当部課名	企画課	事業実施 (予定)年度	令和5年度～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-7		
事業内容	中城中学校全生徒を対象とした平和体験学習(校外学習)を実施し、平和や戦争について考える機会を与える。学年ごとにコース内容が異なり、段階的に各地域で起こった戦争について学べるプログラム内容とする。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	<b>予算 の 状 況</b>	(a) 当初予算額	2,503				
		(b) 予算現額	2,503				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 繰越額	0				
		A. 計 (b+d)	2,503				
	B. 執行済額		2,490				
	うち交付金充当額		1,992				
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		99.5%				
予算の状況の説明		当初予算どおりの適正に執行できた。					
<b>活動目標 (指標) 及び達成状況</b>	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	平和学習の計画的な実施		目標 (      実施      )	(      )	(      )	(      )	
			実績	実施			
達成状況説明	委託事業実施にあたりプロポーザルを実施したことにより、専門的な見識に伴う学習コース等の計画立案が行え、中学校、委託事業者、村との3者による事前協議を重ねた結果、台風の接近など天候トラブルにも問題なく対応ができ、計画的な事業実施ができた。						
<b>成果目標 (指標) 及び進捗状況</b>	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (年度)
	平和体験学習を今後も継続して実施した方がよいか(80%以上)を含め、参加した中学生・教員へアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。		目標 (      )	( 80% )	(      )	(      )	(      )
			実績	98%			
	進捗状況説明	アンケートの結果、目標達成することができた。 ・学習の理解度で「よくできた」「できた」を選択したのは97.3% ・コース内容の満足度で「とてもよかった」「よかった」を選択したのは96.2% ・ガイド説明の理解度で「よく理解できた」「理解できた」を選択したのは90.4% ・事業継続について「今後も継続した方がよい」を選択したのは98.0%					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	中学校との連携により生徒の体力等の状況を考慮した学年毎の事業実施時期の設定や、委託事業者の専門的な見識に伴う学習コースの設定、専門ガイドの配置などにより、目標を大きく達成することができた。	比較的満足度の低かったガイド説明の理解度を向上させるため、事前学習など学校との連携をさらに強化して取り組みを進める。
	<b>今後の取り組み方針</b>	
引き続きプロポーザルの活用など専門的な見識も取り入れつつ学校との連携強化などを進め、さらなる学習効果の向上を図っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	2,490	2,490	1,992	498	0
<pre> graph LR     A[中城村 2,490千円] --&gt; B[委託料 2,490千円]     B --&gt; C["(株)日本広告 2,490千円"]     </pre> <p style="text-align: right;">(令和5年度 中城村中学生平和体験学習事業委託業務)</p>					

資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先はプロポーザルにより選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額はほぼ発生せず、適正な規模であった。 ○費目・用途については、額の確定時において支出等に関する書類により、確認し、適正であることを確認した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	